

イタヤガイ科 ヒオウギ

Mimachlamys nobilis

ご存知のように、高知県で長太郎と呼ばれる二枚貝です。浦ノ内湾でもごく浅い所の岩場に付着しています。本種には写真のようなオレンジ色と黄色の他に、褐色、赤、紫の色彩変異がありますが、いずれも単色です。



写真の貝は、2004年4月20日に高知市横浜の漁師、永野昌枝さんが玉島で採集しました。永野さんは浦戸湾では初めて見たとのこと。このことと環境の回復を単純に結びつけるのは早計ですが、こんな美味しい貝が浦戸湾でどんどん増えて欲しいものです。

2004年6月9日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします。